国立国会図書館デジタルコレクション　年録　七十八（延宝八）

柳營日次記

延寶八庚申年

五月御用番

朔日

出仕有之　御目見無之御茶之試有之

一御宮　御仏殿へ初茄子御進献

一若王子使僧御札香献之

一大津惣代高宮布百端献之

二日

時服弐　御暇　若王子使僧斗

同　〃　勝仙院使僧

同弐　〃　大津惣代弐人

一御茶之試有之

三日

端午之御帷子如例年御家門方諸大名より被上之

尾張殿使者時服四羽折　渡辺半蔵

松平摂津守使者時服弐羽折　川村二郎兵衛

四日

式日評定所延引

御座間酒井河内守梅首鶏三拝領之

五日

如例諸出仕雖有之為御養生御礼無之老中演達之

御宮　御仏殿へ初瓜御進献

尾黄門使者被献謁老

六日

式日評定有之土井能登守出座

一今夕舘林宰相殿御事　御養君被為遊家督徳松殿江御

譲御家人可被附渡之旨被仰出之依之甲府殿御三人方登

城

未刻御痞少々被差發ニ付御家門諸大名其外出仕雖然早

速御快然

若君様いまた御誕生無之ニ付舘宰相殿御養子被　仰出

御意之趣奥酒井雅楽頭傳之且又徳松殿舘林家督相

續守立可申旨家司へ被　仰出

七日

右馬頭様巳刻二丸江被為入御臺所口御登　城之処御祝儀

有之旨　雅楽頭美濃守老中并松平因幡守石川美作守為御迎御納戸後迄伺公供奉

権現様御指料(於　御座間　御對顔酒井壱岐守指出御熨

斗鮑　御手自被遣被任大納言旨被　仰出御腰物被遣)本城

正宗御腰物来國光御脇指被進之大納言ニ可被任之旨被

仰出之依之　大納言様即刻二丸江　還御(御供如先御迎)御

家門方諸大名諸役人至迄為恐悦御本城より直ニ二丸江罷

出謁老中未刻御上屋敷江　還御

甲中将殿登　営芙蓉之間ニ而大老老中列座被　仰出之趣

演達於御白書院御三家其外在府面々達之出仕之面々二

丸へ可致伺公旨

一相模守為　上使尾州へ被遣旨被　仰出稲垣備後守京大

坂へ　上使被遣旨

一大納言様へ於二丸御座間(甲府殿御三家)御家門并井伊玄

蕃頭拝謁其外謁老

右ニ付所々飛脚

両御仏殿へ京都到来之蒸筍被献之

八日

大納言様巳刻二丸より　御本城江被為入　御座間　御

對顔

一千代姫君様大奥江被為入御迎成瀬惣右衛門

一御一門方諸大名諸役人為窺　御機嫌登　城

甲府殿為御三家掃部頭河内守於　御座間　御目見

一尾張江　上使として被遣ニ付土屋相模守江金弐十枚時服

五羽折被下之

稲垣備後守

右京都大坂江御使可被遣旨昨日被　仰渡之

由良信濃守

一右日光江可被遣旨被　仰付之

西上刻　大納言様重而　渡御即刻　還御

大納言様二丸より午刻上御屋敷　還御未下刻二丸江被

為入　御本丸江被為入今夜は二丸ニ被成御座候

一御旟本諸番之輩於宿所可申渡旨番頭へ申渡之

九日

御一門方諸大名諸役人登　城之処老中列座被　仰渡候は

昨晩被遊　薨御候

大納言様江　御奉公可仕旨御遣言之趣被　仰渡之

一大納言様二丸ニ被為成御座候

御黒書院下担雅楽頭美濃守老中列座　薨御之趣御三家

始御一門方へ雅楽頭傳達各押落涙退出次越後守加賀守

始四品以上次御譜代始万石以上次松平左衛門督同近江

守次高家詰衆寺社奉行奏者番番頭芙蓉間面々畢而御白

書院御次間三千石以上寄合物頭諸役人等傳之

所々飛脚

十日

大久保加賀守

板倉石見守

松平山城守

大岡五郎右衛門

右御法事御用於二丸被　仰付之

奥東叡山ニて御送葬

一為窺　御機嫌御一門方諸大名詰衆二丸江登　城

書院番

喜多見五郎右衛門

右京都御使金弐枚宛人馬御朱印被下之

御書院番

赤井五郎作

右大坂江同断

京都大坂御使欠

稲垣備後守

右無用之由被仰渡之

十一日

如昨日為伺　御機嫌二丸江登　城

井伊玄蕃頭

酒井河内守

右於二丸　御目見

阿部美作守

右召之於上野　御廟所御普請御手傳被　仰付之

御法事御用被　仰付

枕浦半左衛門
小嶋次郎左衛門

十二日

如昨日為伺　御機嫌二丸　登城

一御廟所　御仏殿出来之地元光院津梁院圓壽院東漸院裏之山迄右四ヶ寺立替地被下之引料可被下之旨

一御出棺御供被　仰付

中奥御番

能勢山城守
小堀下総守
石川三右衛門
久津見又助
大津新五郎
野々山源之助

右六人落髪可仕旨

一御腰物持御鉄炮薬込之面々不残御供被　仰付

永井信濃守
土井周防守
松平備前守
内藤和泉守
小堀和泉守
藤堂和泉守
石川主殿頭
榊原式部太輔
松平伊豆守
小笠原壱岐守
三浦志摩守
石川若狭守

右御道中辻固被　仰付

十三日

二王門
清水口毘沙門堂前谷中口
法蔵堂表口
常行堂裏本坊表門
車坂
屏風坂

松平和泉守
青山大膳亮
久世出雲守
酒井日向守
増山兵部少輔
毛利刑部少輔

右上野御法事中勤番被　仰付

那須遠江守
平野丹波守

右同断火之番

昨日也

藤堂和泉守
榊原式部太輔
永井信濃守
土井周防守
津軽越中守
内藤和泉守
小堀和泉守
松平備前守

右辻固被　仰付

一御小姓衆御小納戸井大森信濃守落髪被

一御側衆三人同番四人落髪不可致候由

一二丸江為伺　御機嫌如昨日登　城

一増上寺江　上使板倉石見守松平山城守を以被　仰出候趣

大納言様被　仰出候は就御遺言　御尊骸上野江被為入

候浄土宗之儀は御代々依為御宗旨於彼寺被為立　御位

牌御法事被　仰付候浄土宗之諷経當寺二而可相勤候右之

趣皆々可申渡旨　上意之由也

以下名前明日ニ留有之

御小姓

神尾飛騨守
能勢出雲守
三枝對馬守
稲垣市正
小出下野守
小笠原佐渡守

瀧川相模守
渡辺安藝守
堀　山城守
永見甲斐守
仙石丹波守
水野備前守

御小納戸

本多金右衛門
坂本小左衛門
大久保一郎右衛門
牧　七右衛門
永井彦兵衛
大久保兵九郎
松平傳左衛門
伊原九郎右衛門
遠山権左衛門
高木宗十郎
山崎猪兵衛
須田市兵衛
甲斐庄三郎右衛門
枕浦平右衛門
小栗十郎右衛門
川井平大夫
天野傳四郎

此外

安倍次兵衛
大森信濃守
遠山半左衛門

奥火之面々落髪

中奥

松平主計頭

御膳奉行

横山甚右衛門
坪内杢之助
小野善兵衛

御鷹頭

清水権之助

小野太郎助
小栗庄右衛門
御厩方
諏訪部彦兵衛
御書物奉行
池田勘兵衛
御細工頭
矢部四郎兵衛
御臺所頭
天野五郎大夫
御大工頭一人
御膳所組頭一人
御代所人四人
小間遣頭一人
小間遣　五人
六尺　四人
御中間頭
御馬口頭
御鑓持　五人
御小人頭一人
御挟箱持六人
御傘持　弐人
御草履取弐人
御駕籠頭一人
御かこ之者十人
以上落髪

十四日
如昨日二丸江諸出仕有之

松平和泉守
酒井日向守

右上野江御出棺御供被　仰付之
酉刻北跳橋より御棺　出御供奉列行
一大納言様申刻御本城丸へ渡御於御休息間被遊御焼香　還御
一御遺骸於東叡山就可有御送葬酉刻北跳橋より御出棺

供奉行列
一御道筋辻固
一北刎橋より竹橋迄之内
小笠原壱岐守
石川若狭守
一竹橋より一橋御門際迄
松平伊豆守
酒井日向守
一一橋より御堀際中山勘ヶ由脇迄
松平備前守
三浦志摩守
一勘ヶ由脇より津軽越中守屋敷迄
津軽越中守
小堀和泉守
一内藤和泉守屋敷ゑ筋違橋
御門際迄
内藤和泉守
永井信濃守
一筋違橋より本多下野守
屋敷前
本多下野守
一御歩行町
松平加賀守
藤堂和泉守
一御歩行町ゑ黒門迄之間
榊原式部大輔
石川主殿頭
二王門より本坊へ　御入
御霊供七五三奉備之御法
事光明供御執行日光御門
跡御焼香御作法等有之
一今日大久保加賀守自八時
分東叡山江相越所々巡見
及刻限　御棺御迎登　城
此節凌雲院実成院信解
院護國院覚成院同道之
実成院護國院は御供但九条架裟懸之殊三人　先達
面帰山
一今夕供奉衆之事
神尾飛脚守
堀　山城守
瀧川相模守
小出下野守
右四人之御小姓衆自帷
子長袴着之御棺之御先
御刀御脇差替々持之
一御側衆三人之内二人
一御奥之番頭
一御小姓衆小納戸衆非番不残
一大森信濃守　新番頭達
山半左衛門両人は御先
参上
一御膳奉行二人
横山甚右衛門
坪内杢助
一御右筆二人
森　新兵衛
大橋左兵衛
是「今朝落髪之儀申上付而任其意今夕御供可仕之旨因
幡守美濃守申渡之
一御書物奉行
池田勘兵衛
一御鷹師頭
清水権之助
小野吉兵衛
小栗庄右衛門
一御厩方
諏訪部彦兵衛
御馬口取三人

御馬
御小道具
御長刀
御棺
御鑓
侍同勢
同勢鑓

一御細工頭
矢嶋四郎兵衛
一御臺所頭
天野五郎大夫
但組頭と平組之者御先江参上
一御同朋三人
細阿弥
仙阿弥
長阿弥
一御大工
鈴木修理
御被官大工　壱人　御手大工頭　壱人
平大工　五人　同心小頭　壱人
○
一御駕籠頭
高橋与左衛門
御駕籠之者　十人
前ニ入○一御小人頭
牧野金助
御挟箱持　六人
御傘持　二人
御草履取　二人
一御鑓持　五人　但御鑓五本
一御膳所組頭壱人同御臺所人四人
一小間遣頭一人
御膳所小間遣　五人　内一人、組頭
御膳所六尺　四人
一不落髪面御供之面々
中奥御小姓衆　同御番衆
寄合
柳生對馬守　村越伊与守
御目付　御目付
日根野権十郎　彦坂源兵衛
御小姓組
御腰物持御薬込之衆一所　矢嶋三左衛門
右之外御供之事　御在世之時上野　御仏殿御参詣之供
奉行列之通也
一押之事例、四人雖出之今度　八人也
但常、侍と中間入交付面侍と中間之間為可相隔之四
人増之
一今日御先江参上之衆
酒井雅楽頭
稲葉美濃守
松平因幡守
御奥番頭
酒井壱岐守
〃
朽木和泉守
御医師
意　安
宗　悦
上　池　院
一御先江参上之内御番之事
御目付二人御歩行目付四人御小人目付六人火之番五人
内一人頭右之分は従本坊　御廟所江奉移　御遺骸迄、
毎日件之通可相勤之
但御目付衆は自翌日一人充不絶可為勤仕
一黒門より二王門迄百人組勤番也
御廟所江御遷座迄毎日昼夜一組充可勤仕但御入棺事畢
面以後　御宮後脇と車坂両所江出人三面勤之
一本坊表門惣御持弓御持筒より一組充毎日昼夜可勤之
但御入棺事畢面以後、清水町口屏風坂両所江出入
勤仕すへし
一御宮後脇　筧五郎大夫　一車坂口　蜂屋七兵衛
一屏風坂口　松平内蔵助　一清水町口　渡辺弥之助
一松原之内へ惣御先手之内より四組充勤番　但御弓頭二組
御鉄炮頭二組是　今日計勤仕也
一二王門　松平和泉守
鉄炮廿挺　弓十張　鑓廿本　侍十四五人徒侍共
足軽三十人
一清水口　青山大膳亮
鉄炮十挺　弓五張　鑓廿本　侍六人　足軽廿五人
一常行堂　酒井日向守
右同断
一法華堂　久世出雲守
右同断
一車坂　増山兵部少輔
鉄炮五挺　弓五張　鑓十本　侍五人　足軽廿人
一屏風坂　毛利刑部少輔
右同断　但六人、御廟所江御入棺以後令勤番
一本坊之御番御書院番一組之内より半組昼夜勤仕
一本坊之玄関御歩行頭壱組之内半組勤番
一御遺骸　御廟所江御遷座迄、小納戸衆當番昼夜詰不
如
寝御寺迄可相勤之但常可為隔番
一小姓衆小納戸衆當番　御免
但小納戸衆之内鬮取三面三人御本丸相残
一小納戸衆大久保兵九郎松平傳左衛門甲斐庄三郎左衛
門須田市兵衛大久保一郎右衛門坂本小左衛門上野二相
詰御本丸御番不勤之於残内昼夜勤番之
一御右筆朽浦半左衛門小嶋次郎左衛門両人兼日依被　仰
付東叡山参上勤之
一落髪之輩御本丸江御用付面罷出候節、羽折白衣三面可
令登　城由也
一今夕御本丸　堀田備中守石川美作守　二丸内藤若狭守
一大納言様申刻　御本丸江被為入御休息之間三面御焼香　帰御
一落髪之面々
名前異同有之印付之分計り日記へ載之
欠　板倉筑後守
欠　大森信濃守
内藤筑後守
堀　山城守　九
永見甲斐守　十
三枝對馬守　三
稲垣市正　四
能勢出雲守　二
御小姓
神尾飛騨守　一
滝川相模守　七
渡辺安藝守　八
小笠原佐渡守　六
小出下野守　五
仙石丹波守　十一
水野備前守　十二
十二日御小姓
能勢山城守

主計頭計今日被　仰付
其外同役〈十二日被　仰付

中奥　小堀下総守
　　松平主計頭
　　石河三右衛門
中奥御番　久津見又助
　　野々山源介
　　大津介五郎
　　甲斐庄三郎右衛門 十三
　　杁浦平右衛門 十四
　　大久保兵九郎 六
　　江原九郎右衛門 八
　　遠山権左衛門 九
　　永井彦兵衛 五
　　坂本小左衛門 二
　　須田市兵衛 十二
御小納戸　松平傳左衛門 七
　　本多金右衛門 一
　　牧　七左衛門 四
　　山崎猪兵衛 十一
　　大久保一郎右衛門 三
　　小栗十郎右衛門 十五
　　川井平大夫 十六
　　天野傳一郎 十七
　　安部次兵衛 十八
十八迄〈小納戸
役名不知　高木惣十郎 十
御膳奉行　遠山半左衛門
　　横山甚右衛門
〃　坪内杢之介
　　森
欠　大橋左兵衛
御右筆〃行列出ニ役名有之　池田勘兵衛
御細工奉行　矢部四郎兵衛
欠　大河原源五右衛門
御鷹頭　清水権之助
〃　小栗庄右衛門
〃　小野吉兵衛
御厩方　諏訪彦兵衛
御大工頭　鈴木修理
御臺所頭　天野五郎大夫
欠　太田伯耆守

十五日
窺　御機嫌登　城之處明日より無用之由被仰渡之
奥　御一門方諸大名諸役人二丸江出仕謁老中
〃　昨夜御棺前江御霊供御備御法布光明供日門御焼香今朝
　　（日次記は書世）
　　従夜之勤行幟法

十六日
奥　本理院様七回忌ニ付来月八日於傳通院御法事有之ニ付
　　奉行　松平備前守
　　同　大久保右京亮
　　同　甲斐庄喜右衛門
　　同所御番　本多飛騨守
　　右被　仰付之
欠　一　日門御病氣に付毘沙門堂近日御下向之由
　　一　今晩日光御門跡被遊　薨御候

十七日
　　右尾州　上使帰登　城　　土屋相模守
奥　諸大名為伺御機嫌二丸江登城
〃　日門昨夜薨去ニ付新宮可有御下向旨京都江被　仰遣

十八日
奥　為伺御機嫌二丸江如此間登　城且松平薩摩守二丸へ　年録
　　登　城
奥　太田原飛騨守
　　太田式部
　　横田甚右衛門
　　右駿府加番被　仰付之

十九日
奥　井伊玄蕃頭　御目見
廿日
　　御仏殿　御名代無之
　　日光御門跡御弟子之宮近日御下向嶋田越中守罷下候節
欠　一　ニ付道中御供可参之由被　仰付之
　　佐渡奉行　鈴木三郎九郎役所へ御暇被下

廿一日
　　為窺御機嫌二丸江如先日登　城
　　一　従尾州御悔之使者成瀬隼人正被上之則御暇酒井雅楽頭御
　　返答被傳之　　鈴木三郎九郎
　　右佐州江御暇昨日被　仰渡之
　　國領半兵衛和州御代官鈴木三郎九郎跡被　仰付

廿二日
　　右御廟所仮出来ニ付二丸江登　城　　阿部美作守

廿三日
　　今度公家衆下向ニ付御馳走人被　仰付之　勅使大炊御門
　　内府　土方山城守曽根源兵衛　法皇使小川坊城大納言
　　本院使　綾小路中納言　木下肥後守　南条金左衛門　新
　　院使　今城中納言　遠山和泉守　竹村惣左衛門　女御御
　　使者　西洞院三位　有馬伊豫守　遠山与左衛門
　　酒井越前守
　　柳生對馬守
　　右上野火之番被　仰付之
奥　毘沙門堂門跡参向ニ付途中迄奉書

廿四日
　　増上寺　御名代無之
　　明後廿六日未刻上野本坊江御歩行二組小十人二組可出旨
　　一

申渡之是、本坊より御廟まで御棺之御供也
奥 甲府中将殿其外諸大名少々登　城

廿五日
欠 毘沙門堂御門跡今朝御着之由

赤井五郎作
喜多見五郎右衛門

右上方　上使帰登　城

廿六日
今暁　御廟江被為入候

余語古庵

欠記 右駿府御城代松平豊前守病氣以之外ニ付依願被遣之
一 上野江参詣之日限
五月廿八日甲府殿　紀伊殿　水戸殿　尾張中将殿　紀伊
中将殿　水戸少将殿　尾張中納言殿名代参拝
同廿九日　諸大名一万石以上同嫡子共装束
六月朔日二日　高家衆詰衆番頭衆中奥衆装束
同三日四日　布衣以上御役人醫師
同五日　寄合衆
同六日七日九日　諸役御番衆無官之面々白帷子長袴
御香奠差上員数
銀三十枚　廿五万石より五十万石まで
同二十枚　十五万石より廿四万石まで
同五枚　五万石より九万石まで
同三枚　四万石より一万石まで
同十枚　三十万石以上惣領
右之通　六月十八日可差上之
御中陰御法事之次第逮夜
巳刻御百光明供
初七日巳刻御胎曼供逮夜 同断八人 法花八講
二七日 同断八人 法花八講　逮夜 同断 惣 布薩戒
三七日　御法白三昧　逮夜 同断 惣 頓写
四七日　御経供養　逮夜 同断 東漸院 導引 六通講式
五七日　御金曼供　逮夜 同断 惣 論議
六七日　四筒法用　逮夜 同断 御 三百人 法花讀経
尽七日　御施餓鬼　逮夜 同断 一切経轉讀
百ケ日　御合曼供　以上
御導師　毘沙門堂門跡　土海
一今夕於東叡山奉葬儀則
一庭上作法
一列讃■匝
一畫　御廟地封
一到刻限於　御内陣
献■膳此内諸天讃■一匝
光明法　九條錫杖
御棺　出御 西上刻
行列之次第

挑火 灑水 薫香 挑火衆人十五人 挑火 幾備十四人
挑火 毘沙門堂門跡 挑火 幾備十四人
挑火 納物箱 挑火 御目付 御馬 御歩行衆
挑火 御挟箱 小十人組一組 挑火 御長刀 細阿弥 挑火 大久保加賀守 衣冠 挑火 御香 大久保兵九郎 松平傳左衛門 替々可相勤 衣冠 三枝源蔵守 御挑火
衣冠 稲葉石見守 御挑火

御棺　御輿　御駕差　次第　酒井雅楽頭

次第　酒井雅楽頭之内二人

次第　稲葉山城守　井上筑後守　酒井日向守　酒井左衛門尉　酒井雅楽頭　酒井左京亮　酒井左近将監　酒井左衛門尉　酒井左兵衛尉　酒井左近将監　酒井左衛門尉　酒井左兵衛尉　酒井左近将監　酒井左衛門尉　酒井左兵衛尉

柳營日次記

延寶八庚申年

六月御用番

朔日

欠 出仕無之當町人作事昨夜より御免

一 堀田上野介去ル廿日死去依之堀田備中守登　城無之

二日

欠 徳山五兵衛

右増上寺御法事中御用可相達旨被　仰付之

一 窺　御機嫌御家門諸大名登　城

三日

欠 東福門院三回御忌来ル十五日京都般舟院泉涌寺ニ而御法事ニ付米百石被遣之

禁裡より御法事御執行ニ付彼両寺へ米三百石白銀十貫目可為御施之旨以飛脚被　御仰遣之

伊奈兵右衛門

右増上寺御法事中御用被　仰付之

欠 一 為伺御機嫌　甲府殿御三人方使者被上之諸大名登城

〃 一 二丸江夕方老中登　城之処伺　御機嫌雅楽頭美濃守は御免

〃 一 本理院様御法事於傳通院来ル五日逮夜より初之

四日

〃 為伺　御機嫌　甲府殿登　城御三人方使者被差上之

〃 一 日光新宮昨夜御到着ニ付　上使雅楽頭吉良上野介被遣之

〃 一 嶋田越中守新宮之供奉相勤昨夜参府今日登　城

〃 一 内藤和泉守事増上寺御法事中方丈口御番被　仰付之

五日

六日

欠 〃 一 本院より為被見廻原監物を以御菓子被遣之則御暇

二丸江為窺　御機嫌少々登　城

七日

〃 為窺　御機嫌諸大名登　城

一 大屋相模守祖母忌中小笠原土佐守母也

八日

〃 上野　御名代酒井雅楽頭

〃 一 於傳通院本理院様御法事相済為　上使土井能登守を以御布施被遣之

白銀二百枚　傳通院　同十枚宛　霊巌寺

知恩寺　同五枚宛　西福寺　本誓寺

大善寺　誓願寺　無量院　雲光院　霊山寺

役者弐人月行持十人三千貫文讀経衆僧

松平備前守

大久保右京亮

本多飛騨守

甲斐庄喜右衛門

右法事相済候ニ付二丸江登　城

堀田備中守

右忌　御免登　城

九日

朝岡権三郎

本多頼母

右御側御小姓ニ被　仰付之

欠 十日

公家衆今朝到着に付　上使雅楽頭吉良上野介被遣之

尾張殿国元より之使者御暇

大澤幸右衛門

〃 十一日

公家衆上野江参詣御贈官位持参之二丸江諸大名為伺　御機嫌登　城

欠 十二日

昨日　御贈位官　御昇進ニ付　甲府殿御三人方御一門方

一 尾張殿国元より御法事初に付使者石谷十左衛門被上之

十三日

十四日

〃 日光御門跡毘沙門堂御門跡於二丸　御對顔次ニ大坂より

〃 帰府嶋田越中守　御目見

一 勅使院使於傳奏屋敷御暇被下物老中出座傳達之

銀五百枚 時服十　大炊御門内府

同三百枚 同六　小川坊城大納言

同二百枚 同　綾小路中納言

同 同　今城中納言

銀二百枚　西洞院三位

銀百枚 時服五　平松少納言

銀三十枚 同弐　山口少内記

同十枚 同　青木右兵衛尉（鷹司殿使者）

同 同四　青木志摩守（近衛殿使者）

同断　齋藤信濃守（一条右府使者）

同断　保田内匠頭（伏見殿使者）

同断　津田杢権次（有栖川殿使者）

同断　細川相模守（八条殿使者）

同断　藤木右京進（女五宮御使）

銀十枚　田中内蔵亮（九条左中将殿使者）

同　天野美濃守（大覚寺門跡使者）

同　井関大弐（妙法院御門跡使者）

銀十枚　今大路兵部卿（一条院御門跡使者）

同　内侍原治部頭（青蓮院宮使者）

同　鳥居小路大蔵卿（梶井宮使者）

同　寺家宮内卿

実相院使者　芝坊法印
聖護院御門跡使者　中務卿法眼
仁和寺御門跡使者　高橋良伯
円満院御門跡使者　中西内匠
竹内御門跡使者　千種刑部卿
三宝院御門跡使者　井内侍従
勸修寺使者　山田大蔵卿
大乗院御門跡使者　松井中将
隋心院御門跡使者　嶋村右近
専修寺使者　青龍寺
安井宮使者　師法眼
大炊御門前太府使者　大河内杢
徳大寺前内府使者　物加波對馬守
菊亭右大将使者　山本丹波守
転法輪大納言　井上杢
花山院大納言使者　石川隼人正
久我三位中将使者　春日淡路守
醍醐三位少将使者　高津主殿介
西園寺侍従使者　芦田右衛門
廣幡侍従使者　山本外記
勸修寺大納言使者　三室主計
三条西大納言使者　江村権兵衛
日野前大納言使者　上田采女
高倉前大納言使者　松山右近
中院前大納言使者　小川市之進
千種大納言使者　宗所内匠
廣幡中納言使者　萩原数馬
烏丸中納言使者　人見帯刀
櫛原大納言使者　一色筑後
六条前大納言使者　河野辺内匠
堀川宰相使者　天野喜兵衛
船橋三位使者　曽根頼母
梅園右兵衛督使者　山本外記
橋本多丸使者　多田平介
山科中将使者　水野内匠

同　芝坊法印
同　中務卿法眼
同　高橋良伯
同　中西内匠
同　千種刑部卿
同　井内侍従
（銀十枚　時服三）　山田大蔵卿
同　松井中将
同　嶋村右近
時ふく三　青龍寺
同　弐　師法眼
（銀十枚　時ふく弐）　大河内杢
同　物加波對馬守
同　山本丹波守
同　井上杢
同　石川隼人正
同　春日淡路守
同　高津主殿介
同　芦田右衛門
同　山本外記
銀十枚　三室主計
同　江村権兵衛
同　上田采女
同　松山右近
同　小川市之進
同　宗所内匠
同　萩原数馬
同　人見帯刀
同　一色筑後
同　河野辺内匠
同　天野喜兵衛
同　曽根頼母
同　山本外記
同　多田平介
同　水野内匠

同　飛鳥井少々使者　安田右京
同　四条中納言使者　原造酒允
同　冷泉少将使者　中川弥五右衛門
同　土御門極腐使者　小松七兵衛
同　円照寺使者　武藤猪兵衛
同　瑞勝寺使者　辻織部
同　宝珠院殿使者　岡門兵衛
同　一条通君御方使者　尾上忠右衛門
この名ハのそく方よし　同　楽人惣代　上越後守
時ふく弐

右之通被下之

十六日

御嘉祥無之為伺　御機嫌御三人方登　城
一　尾張殿国元より為窺御機嫌舎人八右衛門登　城
〃　一　公家衆今朝發足御馳走人登　城
一　本院御所使者金壱枚時服弐原監物

欠

十七日

大阪加番之衆發足之儀来月十日頃迄相延可申旨被　仰出之

十八日

辰下刻東叡山江御参詣御衣冠

御供松平因幡守稲葉石見守本多頼母朝岡権三郎林治大夫曽我十左衛門御簾吉良上野介御太刀大沢右京大夫御刀松平隠岐守御沓三枝摂津守御先老中

一　御参詣に付被遣物

時ふく二十

同　十　日光新宮
（銀廿枚　時服三）　毘沙門堂御門跡
同　廿枚　凌雲院
同　十枚　住心院
（同十枚）　信解院
同　勸理院
銀十枚　尊重院
同　常徳院
同　津梁院
同　寒松院
同　東漸院
同　龍成院
同　佐々木民部卿
同　大西宮内卿
同　野澤縫殿
同　田村権右衛門

一　御法事相済候ニ付御布施物

銀二千枚　日光新宮
同　毘沙門堂門跡
同四千枚　衆僧
青銅二万貫　讀経衆僧
銀二百枚　楽人
同三千枚　（百姓町人　諸役者）
烏目千貫　座頭
二百貫　盲女

欠

一　未刻　還御　還御已後御三人方より使者被上之

一　昨十六日小普請組大久保右京亮組小長谷弥右衛門宅江浪人奥山丹栖と申もの来り乱氣ニ而弥右衛門を指殺申候弥右衛門子次郎右衛門聞付出合射留申候次郎右衛門は大草主膳正組進物番之由

十九日

昨日為伺　御機嫌　甲府殿御三人方諸大名諸役人二丸へ登　城

欠

廿日

上野御法事中御門番并役人於二丸　御目見本多飛騨守先日　御目見無之に付今日　御目見

参府　御目見

梶　左兵衛

一　本理院殿七回御忌ニ付傳通院にをいて御法事御用相勤候ニ付被下物

（銀十枚 時ふく弐
神谷長五郎
同
勝屋甚五兵衛
同
岡上次郎兵衛
銀五枚　御披官大工　銀二枚ツツ
御披官弐人
松平備後守（前カ）
松平采女
本多右衛門

右上野當座火消被仰付之

欠
廿一日
前日光御門跡為御香奠　上使堀田備中守を以銀五百枚
昨日　新宮様へ被遣之

廿二日
火消役小出瀬兵衛死去

欠
廿三日
右京都（江）御使可被遣旨被　仰出之　上杙伊勢守

廿四日
増上寺御法事今夜より初候由

欠
廿五日
為伺　御機嫌御家門方諸大名二丸（江）登　城
（石川源五左衛門
岩手喜左衛門　永井佐渡守組
（建部十郎左衛門
多賀三郎兵衛　田中大隅守組

右大坂より御金宰領（ニ）参候御番衆へ時服二宛被下之

廿六日
石川主殿頭

欠
一〃　右日光山為御名代可被遣旨被　仰出之
御三人方より為伺　御機嫌使者被上之

（池田帯刀組
蜂屋小右衛門
（大久保豊前守組
小宮山庄九郎

右御小納戸被　仰付之

一〃　今七過於増上寺本堂初夜之御経之節内藤和泉守致乱心
永井信濃守を脇指（ニ而）切殺候同座有之遠山主殿頭抱
留之伊奈兵右衛門（江）御預（ケ）

廿七日
増上寺御法事相済為御名代稲葉美濃守を以御布施被
遣之

銀三百枚　増上寺方丈
同三十枚　傳　通　院
同二十枚　霊　厳　寺
同　新知恩寺

一　御遺物被遣候品々

（御小脇差倶利加羅正宗
御懸物芝霊石墨跡　代金五貫文
紀　伊　殿（江）　上使堀田備中守

（御霊夏衣
御屏風花鳥雪村筆一双
安之宮御方（江）

御脇差貞宗代金百五十枚
紀伊中将殿（江）

（御刀中川郷代金五千貫
御懸物■■絶道仲両筆（はまだれに疑　癡か）
尾　張（江）

御腰物貞宗代金百五十枚
尾張中将殿（江）

（御脇指貞宗代金二百枚
御茶入伯耆肩衝
御刀当麻代金百枚
水　戸　殿（江）　上使土井能登守　水戸少将殿へ

（御刀中書正宗代金三百枚
御掛物卯月墨跡
御茶入道阿弥肩衝
甲　府　殿（江）　上使大久保加賀守

（自如忍軒郷両筆
御脇指金森正宗代金三百枚
御茶入繁雪肩衝
舘林徳松殿

（忍頭皆如両筆一軸
御屏風洛中古法眼筆
御霊初春
御　臺　様（江）

（御屏風つなき馬土佐筆
後撰集為家筆
姫　君　様へ

一　今度御本丸（江）可被召連之旨被　仰渡衆
御小姓
曽我十左衛門
林　次太夫
有田忠右衛門
大井甚右衛門
荒川七之助
松平源兵衛
永井又右衛門
御小納戸
小澤宇右衛門
鵜殿八兵衛
河内半兵衛
長山弥三郎
加藤源右衛門
花村三郎兵衛
笠原作右衛門
飯塚喜兵衛
服部庄三郎
御膳奉行
山本金右衛門
御医師
喜多村安齋
岡　了節
北嶋円齋
箕浦壽元
本康宗碩
御数寄屋坊主五人
奥坊主八人
御臺所衆
御賄衆

廿九日
七月二日の所見合

晦日
火消役小出瀬兵衛跡
右被　仰付之
水野主膳
永井信濃守
内藤和泉守

右上ケ城請取被遣同定番被　仰付

丹後宮津へ　木下肥後守
同　小出伊勢守
同所御目付　加藤兵助
同　森　六兵衛
勢州鳥羽へ　遠山和泉守
同　土方市正
同所御目付　青山善兵衛
同　深津弥一郎

柳營日次記

延寶八庚申年

七月御用番

朔日
御代替ニ付辰后刻上野
大猷院殿　御仏殿御参詣御直垂
御簾吉良上野介御太刀大澤右京大夫御刀稲葉石見守御
沓酒井壱岐守御供石川美作守御留守居堀田備中守三枝
摂津守御留守居集御先江老中巳刻　還御

二日
御代替ニ付辰下刻増上寺　御仏殿御参詣御直垂　御簾吉良上野介御太
刀三枝摂津守御沓酒井壱岐守御供松平周防守御留守堀田
備中守稲葉石見守御留守居御先江老中午刻　還御
一　増上寺方丈詮雄和尚　御目見初而御参詣ニ付白銀二百枚
時服十被下之同十枚時服二宛同断役者弐人江被下之

三日
御使番　山下五郎右衛門
森河摂津守　青山藤蔵

右大坂御目付代被　仰付之
欠一　御移徒御祝儀可上之覚
一種二荷　一万石より四万九千石まで
二種一荷　五万石より九万九千石迄
二種二荷　拾万石より廿万石迄
三種二荷　三拾万石以上
一種一荷　十万石以上嫡子同断隠居
右之通来ル十日可被差上之
一　昨二日御遺物被下覚
御掛物岸柳遊猿　牧渓筆　酒井雅楽頭
同自画自讃達摩無準　稲葉美濃守
同観音文庫禅師讃自筆　大久保加賀守
同達摩顔輝筆　土井能登守
寒山拾得同筆　堀田備中守
同断山水周文筆　松平周防守
れいし趙昌筆　石川美濃守
来ル廿九日御遺物被遣之御使上杙伊勢守
古今寂蓮筆　本院御所江
御硯箱藤のうら葉
御屏風八乗周文
御屏風耕作古法眼筆
御壺おく山　女五宮江
金千両
古今為家筆　増山仙光院江
右被下之
山本金左衛門
鵜殿甚左衛門
伊奈彦左衛門
西尾左大夫
天野六郎左衛門
横山甚右衛門
坪内杢助
右六人如前之御膳奉行被　仰付但甚右衛門杢助両人ハ
髪生長次第勤番可仕旨
一土御門極蔦使者御暇銀五枚被下

四日
今日於二丸　御目見　御本丸ニ而拝領物
内藤紀伊守
安部摂津守　三人ハ先頃拝領物済
前田右近大夫
内田出羽守
右大坂加番御暇但被下物先達而相済
金五枚　大御番頭
時服五羽折　松平縫殿頭
同　〃　本多淡路守
銀十枚ツヽ　両組頭八人
時服二　銀十枚ツヽ　同組中
右同断在番御暇
鳥目　甚右衛門子　高木彦三郎

同　藤三郎子　渡辺友之助
同　弥藏子　宇佐美亀之助
同　伊奈九郎左衛門次男　三枝平助
九右衛門子　本多左兵衛

右於二丸　御目見

一　梶井御門跡去月廿四日薨御之由

（金一枚　時服三）枕浦半左衛門一
同二枚　小嶋次郎左衛門二
同五枚　須田次郎太郎三
同二　小菅猪右衛門四
同　矢部四郎兵衛十五
（同一枚　同三）大久保平兵衛五
（同二枚　時服三）伊奈左門七
同　野村彦大夫八
（金壱枚　時服弐）山田七兵衛十一
同　守屋傳左衛門十二
（同　同三）設楽七左衛門六
金弐枚　金丸平左衛門九
同　酒井甚之丞十
（同壱枚　同三）人見友元十四
金三枚　鈴木修理十三
銀十枚ツツ　御披官大工三人
同三枚ツツ　小普請方手代十人
同　矢部四郎兵衛組　同心三人
同　御手大工壱人
同弐枚　定普請同心　小頭壱人
同一枚ツツ　同心十人
金五両ツツ　御大工頭　甲良豊前
金五両　御手大工頭　栗野平左衛門
銀五枚　田屋仁兵衛
同　石屋久三郎
金壱両ツツ　御手大工五人
銀三枚　小普請棟梁　九兵衛
同三枚ツツ　小普請方　手代十人

右上野御法事御用相勤ニ付

五日

猩々皮十間　松平薩摩守一
（銀百枚　綿百把）松平大蔵太輔二
（時服四　銀馬代）織田内記十七
（綿百把　金馬代）水野美作守三
十　松平丹波守五
（金　百把）青山和泉守六
同　秋田信濃守四
（銀　らうそく三箱）松平市正十
同　酒井石見守九
（銀　和紙五箱）土岐伊豫守八
（銀　料紙二箱）太田原備前守十二
（銀　らうそく三箱）溝口伊豫守十六
（銀　同二箱）本多長門守十一
（銀　時服三）小笠原備後守十七
銀馬代　前田宮内十四
（和紙二箱　銀）菅沼主水十八
（染革十枚　銀）菅沼織部十九
（泥障三懸　銀）山崎勘解由七
（料紙二箱　銀）本堂源七郎十三

右之分如例年　御本丸御納戸江納之

御一門方其外七夕之鯖代献上之

黄金十両ツツ　尾張中納言殿
紀伊中納言殿
水戸宰相殿
（黄金十両　鯖二百刺）松平越後守
黄金十両　松平加賀守
白銀五枚　松平相模守
松平左京大夫
松平讃岐守
十両ツツ　松平大和守
松平安藝守

六日

参勤

銀三枚　松平越前守
同五枚　松平出羽守
松平中務太輔
松平大蔵太輔
同三枚ツツ　松平飛騨守
松平若狭守
金十両　松平伊与頭守
時服三　藤堂和泉守

一　二条在番帰於二丸　御目見

（胴乱三十　銀馬代）武田越前守
（切付五口　同）堀田對馬守
満皮廿枚　京都町奉行　前田安藝守
銀馬代　大坂町奉行　嶋田越中守使者
切付三口　同　水野伊豫守
満皮廿枚　堺奉行　同

右武田堀田前田水野四人、於二丸　御目見進物は御本丸江納之

禁裏附　京都御暇　石川彦五郎
長崎奉行御暇　川口源左衛門
金十枚

両人右於二丸　御前相済拝謁

一　如例年御家門方より七夕為御祝儀鯖代進上之

七日

甲府殿御三人方登　城於二丸　御目見諸大名諸番頭寄合
役人登　城謁老中
御休息之御座之間御造畢ニ付御安鎮護摩今未明より知足院執行
之外出家十九人御料理被下之

八日

辰刻上野江御参詣　御長袴　御供石川美作守御刀酒井壱岐守
御留守堀田備中守内藤若狭守御留守居御先老中松平因
幡守巳刻　還御　還御巳後御三人方より為伺御機嫌使者
被上之

九日

石川主殿頭

右日光帰於二丸　御目見

（金十枚　時服三羽折）　大澤右京大夫

右京都江御暇ニ付被下之

欠

一

上様　大納言御昇進御礼被遣物

禁裡江銀五百枚絹五十疋

法皇江同三百枚同二十疋

本院　新院江銀二百枚絹二十疋

女御江銀二百枚巻物

女五宮江銀五十枚晒二十疋

本山院千種両傳奏江金壱枚

一　匂當内侍　勘ヶ由小路　梅小路へ銀三十枚宛

右之通被遣之

参勤御礼

綿百把　蝋燭千挺金馬代　時服五　金馬代

右　御本丸江納之　松平下総守　戸田采女政　牧野備後守

欠

右　御本丸江可被召連旨被　仰付之　石川細阿弥

（御同胞頭　永倉珎阿弥跡）

右被　仰付之

是　厳廟へ御奉公相勤ニ付右之通聞召及ばれ　内藤和泉守

右領知屋敷被召上旨家来可立退旨内藤新五郎を以被

仰付之　永井信濃守

右同断大井新右衛門を以被　仰遣之是内證願有之

十日

今日吉辰ニ付為御移徒二丸ゟ御本丸へ被為御道筋中

御門御玄関通松平因幡守内藤若狭守三枝摂津守其外

御小姓衆御小納戸衆中奥衆御徒頭非番ニ不残頭計小十

人頭渥美九郎兵衛秋山源左衛門頭計供奉

一於御座間御祝儀御熨斗鮑

一御臺様姫君様辰上刻御屋敷神田橋御門之内平川口通

御入御迎御留守居戸田備後守大久保山城守御目付高木

善左衛門御徒頭宮城主殿石野八兵衛組共御留守居番筒

井内蔵三浦八兵衛御廣敷番頭小林吉大夫宇都野作之丞

此外御廣敷添番十五人

一徳松様之御袋様為御迎御廣敷番頭松平所左衛門川野三

左衛門御徒頭佐野内蔵允組共御道筋固之

一巳刻御黒書院　出御上段へ御着座（御半袴）甲府殿　御對顔

御熨斗鮑御手自被遣之次紀伊殿水戸殿尾張中将殿水戸

少将殿一人ッヽ　御對顔次越後守加賀守一人ッヽ畢

玄蕃頭下総守同断畢　御同所東間　出御詰衆諸番頭物

頭諸役人其外伺公一同拝謁

一在府諸大名井寄合御祝儀登　城大廣間ニ而謁奏者番今

日出仕（半袴）

御本丸御移徒被為入御黒書院　出御御三人方松平越後守

松平加賀守御礼御熨斗頂戴之諸大名登　城於大廣間謁

御奏者番詰衆諸番頭諸役人於山吹之間　御目見

一

御臺様　御姫君様辰下刻平川口より入輿

十一日

昨日御移徒に付御一門方諸大名より御樽肴一献上之甲府

殿御三人方より三荷三種宛同御嫡子方より一荷二種宛

右之通献上之使者江謁堀田備中守目録差上之

一

新君様　秀君様より二荷一種宛献上之

一

日光御門跡毘沙門堂御門跡より二荷三種宛被上之右使者

謁堀田備中守目録被差上之

一

甲府殿御三人方御父子　御簾中より　御臺様江献上物

大奥江被上之甲府殿御三人方より二荷三種御子息方より

一荷二種宛

一

四品以上諸大名二丸　御樽肴被上之目録は御本丸へ持

参久世出雲守受取納之

一今度御移徒ニ付御祝儀献上之次第

三種三荷ッヽ

甲府中将殿

尾張中納言殿

紀伊中納言殿

水戸宰相殿より

尾張中将殿

紀伊中将殿

水戸少将殿より

二種一荷ッヽ

三種三荷

三十万石以上

二種二荷

拾万石より廿九万石まで

二種二荷

五万石より九万九千石まで

一種一荷

壱万石より四万九千石まで

同断

十万石以上之嫡子　隠居之面々

二種一荷充

土井能登守

堀田備中守より

御臺様江

三種二荷充

甲府中将殿

尾　黄　門

紀　黄　門

水　宰　相より

千代姫君御方より

安宮御方より

同断

二種一荷

尾　中　将殿

紀　中　将殿

同断充

水　少　将殿

同断　甲府中将殿尾張中将殿水戸少将殿之御内室より

松平讃岐守より

保科筑前守

井伊玄蕃頭

酒井雅楽頭

同断

稲葉美濃守より

大久保加賀守より

土井能登守

堀田備中守

酒井河内守

松平因幡守

石川美作守より

一種一荷充

御姫様

酒井雅楽頭

稲葉美濃守

大久保加賀守

土井能登守

堀田備中守

酒井河内守

松平因幡守より

石川美作守より

鮮肴一種充

一四品以上之面々ハ六時分より五時迄献上之四品以下ハ
四時より昼時分迄献上之
一松平伊豆守事二丸火之番被　仰付之旨老中より奉書達
之但只今迄御持筒之頭雖相勤之御廟所之御番依被　仰
付之也

一一万石以上諸大名御樽肴ハ二丸江納之目録出雲守家来請
取之

十二日

徳松殿平川口より大奥江被為入り御樽肴進上之枝珊瑚樹一
琥珀一連金唐巾廿枚被遣之

一御同所家来江被下物

時ふく五ツッ
枚浦大隅守
曽我伊賀守
黒田宗右衛門
枚浦兵九郎
押田三左衛門
内藤十兵衛
本庄太郎兵衛
枚浦左之助
黒田三五郎
金田与左衛門
山口五郎兵衛
吉田策庵
時ふく四
同
同三
同
同弐
同
同
同
同
同
銀十枚
かん
こやま
いなは
いそ
やの
さか
とま
同三枚
同
同弐枚ツッ

右之通被下之

一甲府殿より御生見玉為御祝儀一荷一種金弐枚被遣之
御留守居　板倉市正
時ふく五羽折

右　御目見於　御座之間被下之是ハ奥方御普請奉行相勤
ニ付而也

松平伊豆守

右二丸火之番昨日以奉書被　仰付之
式日寄合能登守出座
徳松様より　御對顔ニ付被遣物

三種二荷　上　様へ　銀五枚
弐種一荷　御　臺　様へ　同十枚
弐種一荷　御　姫　様へ　同

同　道意
御山作　鎌田庭雲
張付師　山本正言
御披官大工
清水弥左衛門
前澤藤兵衛
鎌田久右衛門
福村太左衛門
高橋与右衛門
鶴　飛騨
小林忠左衛門
岩井善右衛門
同　善六郎
同　喜右衛門
秋山介六郎
荒木市右衛門
渡辺与三右衛門
小細工手代四人

十三日

来月中旬公家衆参向ニ付御馳走人被　仰付之

近衛殿　相馬弾正少弼　同五枚
鷹司左大将殿　仙石越前守　銀三枚
勅使　脇坂中務少輔　同十枚
法皇使
本院使　伊達宮内少輔　同
新院使　堀　周防守　同五枚
女御使　細川豊前守　同三枚

一奥方御普請出来に付御褒美被下之

小普請奉行
金三枚
時服三羽折
花井次左衛門　同五枚
浅井平右衛門　同弐枚ツッ
御大工頭
木原内匠　同
鈴木長兵衛　金五両
小細工奉行
梶山加左衛門　金弐枚
千種六郎左衛門　同
植木奉行
増井弥左衛門　金壱枚
早川伊兵衛　同
狩野養卜　銀五枚
同　探信　時ふく三
同　探雪　同
御庭作
山本道勺　金壱枚

一今度上野仮御廟所御普請中相勤御褒美被下之

稲生兵右衛門　金十両
菊地彦大夫

一御徒移ニ付御札并巻物二知足院根生院より献上之

尾張殿使者
小瀬新左衛門　時服三羽織

十四日

右御移徒御祝儀之使者御暇被下之

十五日

増上寺　御仏殿御名代大久保加賀守
増上寺方丈へ　白銀二百枚　時ふく十
同所役者弐人　同十枚　時服二宛

右被下之

一 東叡山
大猷院様
厳有院様 御仏殿江 堀田備中守
一 同所
高厳院様
宝樹院様 御佛殿江 土井能登守
右之通御名代参拝且能登守を以被遣物
時服二十 日光御門跡
同十 毘沙門堂御門跡
同三 凌雲院
同弐 観理院
同 信解院
同 寒松院
同 東漸院
同 常徳院
同 津梁院

欠一 御代替御礼之日限御書付
七月廿一日元日出仕之面々同廿二日二日出仕之面々廿二日三日出仕之面々
一 在国在所之面々名代使者元日分は廿一日二日之分は廿二日罷出可相勤之隠居之面々も同断
一 廿三日三千石より九千石迄之面々役所或ハ在所有之或病氣之輩使者を以御太刀目録献上之右は使者従中之口入口明屋敷脇ニ而奏者番家来太刀目録請取納之使者可為半袴但三千石以下諸大夫之面々も右同断
一 御臺様 姫君様御祝儀献上物於二丸廿一日廿二日昼以後可差上事
一 上様江は年始御礼之通但国持廿万石已上は真御太刀可指上事
一 御臺様へ差上物員数
銀五枚御肴二種 三万石以上四万九千石迄
銀十枚御肴一種 五万石より九万九千石迄
銀廿枚同断 十万石より廿九万石迄
銀三十枚同断 三十万石以上
銀五枚御肴一 十万石以上隠居同断惣領

一 姫君様江差上物員数
銀三枚御肴一種 三万石より四万九千石迄
同五枚同断 五万石より九万九千石迄
同十枚同断 十万石より廿九万石迄
同廿枚同断 三十万石以上
同三枚同断 十万石以上隠居同断
惣領同断
一 奥女中江遣物員数
三拾万石以上金壱枚梅二千疋宛岡山おのゑ千疋宛表使
三人 廿万石より廿九万石まて 二千疋梅千疋宛岡山
尾上五百疋宛表使三人十万石より十九万石迄 千疋梅
五百疋宛岡山尾上三百匹表使三人
十六日
尾張殿使者御暇時服四澤井三左衛門是は御遣物被遣御礼也
一 酒井雅楽頭娘死去忌中
一去八日院女御薨去ニ付京都へ飛脚被遣之
十七日
欠
右 御目見遠慮 御免
阿部四郎五郎
同 忠右衛門
大久保八郎左衛門
由良信濃守
大久保甚右衛門
十八日
一荷二種 東本願寺使者 栗津庄兵衛
右御移徒御祝儀進上之謁老中
一 桂昌院様大奥へ被為入
時服三 小野次郎兵衛
同 菅沼次郎右衛門
右大坂より御金幸領仕候ニ付被下之
一今朝評定所誓詞加賀守出座

十九日
時服弐 東本願寺使者 栗津庄兵衛
右御暇ニ付被下之
銀百枚 時服五 知足院
銀百枚 御休息 同役者中
右は先日御座之間安鎮法御執行に付被下之
日光帰 仙石次左衛門
右登城 御目見
一 永井市正昨夕死去
上使 板倉石見守 渡辺大隅守 松平淡路守
右被 仰渡趣
御諚之趣淡路守儀堀田上野介令自害に付引込罷在候儀達 高聞之処ニ阿波守時分年寄共迄請差圖差置候段雖被聞召届代替之時分相伺念入可差置候処致不念不届ニ被 思召候依之閉門被 仰付もの也
廿日
辰下刻紅葉山 御仏殿 御参詣 御先立稲葉美濃守御刀林次大夫御沓大井甚右衛門御供松平因幡守石川美作守三枝摂津守稲葉石見守御留守堀田備中守内藤若狭守御留守居御先老中即刻 還御 還御已後御三人方より使者被上之
豫参
美濃守
加賀守
土井能登守
堀田備中守
廿一日
御代替御礼之次第
御太刀 畠山下総守
御剱 内藤若狭守
巳刻御黒書院 出御緋御直垂 甲府殿御礼太刀目録酒井河内守披露之御白書院江 渡御紀伊殿水戸殿御礼御太刀目録河内守披露之次ニ松平越後守松平加賀守松平相模守松平越前守太刀目録持参御礼畢而

一　尾張殿名代竹腰阿波守太刀目録河内守披露之次ニ松
平左京大夫松平出雲守酒井雅楽頭吉良上野介松平三
河守松平伯耆守松平刑部太輔松平播磨守松平大和守（病保科筑前守）
井伊玄蕃頭松平下総守松平豊後守稲葉美濃守酒
井河内守戸田土佐守畠山下総守織田主計頭由良信濃守
畠山民部太輔次　四品面々松平中務太輔松平飛騨守松
平大学頭松平肥後守松平若狭守酒井左衛門尉松平隠
岐守大久保加賀守土井能登守堀田備中守
右壱人宛太刀目録持参御礼
一　大廊下ニ御奏者番太刀目録前ニ置之御礼
一　大廣間　渡御東之襖戸開之御次之間御譜代大名詰衆同嫡
子御留守居大目付町奉行芙蓉之間伺公之面々諸番頭諸
物頭布衣以上之御役人法印法眼医師無官之高家寄合三
千石以上太刀目録前ニ置後座ニ御番衆諸役人一同　御
目見
一　入御之節御白書院御次之間御小姓組御番衆御裏門番之
頭御廣敷番之頭御具足奉行御金奉行道奉行御腰物
奉行御納戸御弓矢奉行諸色役人御勘定方御縁頬ニ
後藤本阿弥狩野呉服師其外御扶持被下諸職人数多
進物前ニ置之一同御礼御奏者番披露之
一　御黒書院御勝手ニ御膳奉行新御番衆一同御礼　入御
一　大廣間於三之間在国在邑之大名名代使者太刀目録献上
之老中奏者番両人左右ニ居而披露之
一所々御加番
御玄関　渡辺弥之介
中御門　松平内蔵助
御臺所口御門　松平新九郎
一今日御礼真剣献上之面々
御太刀定利（代金五枚）　甲府中将殿
同　吉真（代百五十貫）　尾張中納言殿
同　重真（代七拾五両）　紀伊中納言殿
同伯州國宗（代六枚）　水戸宰相殿
同　秀近（代七枚）　松平越後守
同　國安（代十枚）　松平加賀守
同粟田口重久（代七枚）　松平相模守
同　行助（代七枚）　松平越前守
同備前正恒（代七枚）　保科筑前守
同備前重助（代八枚）　井伊玄蕃頭

廿二日

御太刀　吉良上野介
御剣　三枝摂津守
辰后刻御白書院出御（緋御装束）尾張中将殿紀伊中将殿
水戸少将殿御礼太刀目録酒井河内守披露之次ニ松平左衛
督松平近江守太刀目録持参御礼
一　大廣間　渡御　出座之次第
松平陸奥守松平大膳大夫織田山城守伊達遠江守松平薩
摩守松平土佐守佐竹右京太夫松平安藝守上杉弾正大
弼松平出羽守次ニ四品之面々織田内記毛利甲斐守有馬
中務太輔織田伊豆守森伯耆守丹羽若狭守松平肥
前守
右太刀目録持参壱人宛御礼畢而
下段襖戸開之　立御御次之間ニ上方大名表高家昨日相
残御番衆三千石已上太刀目録前ニ置一同御礼
一　入御之節大廊下ニ無官之医師吉川惟足岩船検校御
通懸御礼御白書院御次之間ニ御手鷹匠衆御代官衆御
縁ニ木原内匠鈴木長兵衛狩野探信同探雪御落縁ニ諸
職人進物捧之一同御礼御奏者番披露之
一　御黒書院御膳勝手ニ昨日相残新御番衆一同御礼　入御
一　大廣間於三之間在国并煩之面々使者太刀目録献上之昨日
御奏者番披露之
一　昨廿一日真御太刀献上之衆綾小路定利代金五枚甲府中将
殿（備前吉貞代百五十貫）尾張中将殿（備前重真代百五十貫）紀伊中納言殿（備前国宗代金六枚）水戸宰相殿（備前秀近代金七枚）松平越後守（粟田口国安代金十枚）松平加
賀守（備前正恒代金七枚）保科筑前守（備前重介代金八枚）井伊玄蕃頭（備前重久代金七枚）
松平相模守（備前行介代金五枚）松平越前守
御玄関前　布施孫兵衛
中ノ御門　堀田惣兵衛
同朋口　小出甚左衛門
これ御後れゆへ出さす
一水戸少将殿御簾中より御徒移御祝儀二種一荷時服五被
献上之
欠
真之御太刀献上之面々
備中正恒（代金五枚）尾張中将殿一文字介吉（代金五枚）紀伊
中将殿備前吉房（代金五枚）水戸少将殿備前重次（代同断）
松平大膳大夫豊後行平（代同断）有馬中務太輔備前常遠
（代金七枚）松平伊豫守城州國行（代金十枚）細川越中守備前
守家（代金十枚）松平陸奥守備前長光（代金十枚）松平薩摩守
備前真長（代金百五十貫）松平丹後守城州国行（代金七枚）
松平右衛門佐備前信房（代百五十貫）松平安藝守来國俊（代
金八枚）松平土佐守備前遠近（代金五枚）佐竹右京大夫備前
景光（代金五枚）森伯耆守備前盛景（代金同断）松平出
羽守

廿三日

御剣　曽我十左衛門
辰后刻御白書院出御御長袴松平元千代宗右京森万右
衛門太刀目録持参御礼櫻之間御敷居際ニ　立御櫻之間
大廊下ニ無官之面々数多榊原式部太輔井伊伯耆守奥平小
次郎右三人家老後座ニ御鳥見衆一同ニ御礼御下段東之
方ニ　立御紅葉之間於落縁江戸銀座朱座進物前
置當所町年寄一同御礼御連哥之間ニ而千人頭同所
後ニ岩松小次郎御礼　入御之節御黒書院御次ニ而落
髪之面々御礼
一　禁裡江初鮭御進献之
一　府中御馬買御用
中山勘兵衛
諏訪部文九郎
右被　仰付之
一　一條通君より御移徒為御祝儀一荷二種時服五使者をもつ
て進上之
一松平越前守内室より同断ニ付金一枚樽肴被差上之

廿四日

辰后刻紅葉山　御仏殿御参詣御長袴御先立稲葉美濃
守御刀林次大夫御沓大井甚右衛門御供松平因幡守石川美

作守内藤若狭守稲葉石見守御留守堀田備中守三枝摂
津守御留守居衆御先江老中即刻　還御　還御已後御
三人方より使者上之
一大久保加賀守土井能登守　与参

廿五日
大目付御目付不残　御前江被為召之
万端御用之儀御直ニ被　仰含
一條通君使者時服弐谷川儀右衛門御暇ニ付被下之

廿六日
寺社奉行町奉行御勘定頭　御前江被為召之御直ニ御用
被　仰付　滝川若狭守
右尾州江御使可被遣旨被　仰付之
（金弐枚　時服弐）　伊奈兵右衛門
右増上寺御法事小普請方御用等相勤ニ付被下之
一土屋相模守数寄屋橋新屋敷へ移徒

廿七日

廿八日
御代替御礼已刻御白書院　出御　御装束
御太刀　畠山民部太輔
御刀　稲葉石見守
（御太刀目録　晒廿疋　同　繻珍三巻）　日光新宮
三束二巻　山門惣代　毘沙門堂門跡
同　日光惣代　光聚坊
一束一巻　和州多武峯　教成院
同　浅草　住心院
同　上州　知楽院
同　長沼　長楽寺
一束一巻　仙波　宗光寺
同　上州　喜多院
同　真光寺
同　千妙寺
同　上野　信解院
同　山王　勧理院
同　伯州　実成院
同　四谷　自證院
同　上野　尊重院
同　同所　勧修院

右御礼　御目見畢而
一束一本　上野　津梁院
同　護國院
同　覚成院
同　寒松院
同　松高院
一束一本　竜城院
同　徳音院
同　吉祥院
同　常徳院
同　東漸院
同　瀧山寺
同　保福寺
同　宮内卿
大緒　日吉大膳
手助十　柴崎宮内
右御礼過而御次之間天台宗数多日光社家高野入道坂
宗悦上野目代楽人日門毘門家来一同御礼有之
一一束一本宛　等覚院　普門院　現龍院　松林院
明王院　養壽院　元光院　明静院
福聚院　圓珠院　真如院　泉龍院
宝龍院　常照院　一乗院　林光院
一同断宛　遠国　顕性院
羽州最上　柏山寺　鞍馬　妙壽院　越後関山　宝蔵院　三州　甲山寺
羽州最上　宝光院　江州白鬚　大勧進　三州　真福寺　宝持院
羽州最上　立石寺　和州吉野山寺惣代　福壽院　摂常楽寺惣代　松梅院　和州吉野山中惣代　知足院
和州吉野山護摩惣代　久保坊　泉州横尾山　霊山院　信州松尾寺　宝光院
紅葉山　同　日光社家惣代　東叡山社家　大森祝部
一扇子一箱宛　宗悦　道入　大森主水
同　金子内記　日光宮家来　同　大西宮内　同　野沢縫殿
毘沙門堂門跡家来　今小路式部　同　前大路少進　同　清水内匠　毘沙門堂門跡家来　小田主膳
上野目付　田村権右衛門
一太刀　楽人共

廿九日
厳有院様御在世之時分御奉公精出御病中
甍御之節迄昼夜辛労仕候ニ付而
松平傳左衛門
大久保兵九郎一
大久保市郎右衛門二
坂本小左衛門五
甲斐庄三郎右衛門四
須田市兵衛六
右於　御前御加増五百石宛被下之
一御代替御礼使者御暇時服弐宛被下之
一厳有院様御霊屋御普請惣奉行大久保加賀守被　仰付之
且大久保兵九郎坂本小左衛門松平傳左衛門同断奉行被
仰付之
一法皇へ初鮭御進献之